

編集後記

毎月編集委員会で名古屋へ来るようになって、はや1年が経とうとしている。思えば、学会員でもなかつた身に青天の霹靂とも言える編集委員の依頼であった。プラズマの研究を飯の種にしてはいるものの、核融合とは縁遠いところにいると思っていたため、編集委員の話をもらってから慌てて入会したことがつい昨日のようである（というわけで新米会員なのですが・・・）。編集委員会に出席して、非常に痛感しているのがプラズマ関連研究の裾野の広さである。きっと、他の研究分野もそれなりに広い裾野を持っているのだとは思うが、自分の研究分野であるプラズマ関連であっても、こんなに広い分野であったのだと驚きすら感じたものである（というぐらい、核融合関連の話題についていけなかっただけとの見方も可能だが・・・）。

考えてみると、このように広い裾野を持ったプラズマ・核融合学会の学会誌のありかたには非常に難しいものがあるように思われる。話がちょっと横道にそれるが、最近、

東海道新幹線のぞみが増発され、品川駅にも停車するようになった。品川にほど近い大学に居る私にとっては、名古屋開催の編集委員会への出席にこの上なく便利になったと喜んでいたのだが、関西方面から名古屋へ向かう場合は逆に不便になったという声も多い。やはり、全員の意向をすべてくみとるということは大変に難しいことなのだろう。このプラズマ・核融合学会誌も、核融合だけではなく広くプラズマ関連の学会誌としての方向を模索していると聞いている。私のように、核融合とは遠いところにいる読者としては歓迎すべきことなのかもしれないが、核融合に関連した多くの読者にとってはどうなのだろうか？そんなわけで、プラズマ応用分野の編集委員として、核融合関連の読者にも興味を持って読んでいただけるような学会誌をめざしていく決意をかためつつも、次回名古屋へ行った時には何を食べようかという思考が勝ってくる。うーん、名古屋恐るべし・・・。

（井深真治）

表紙の写真：「フェムト秒レーザー駆動衝撃によって凍結された鉄の高圧相」フェムト秒レーザー照射後の鉄の結晶構造を解析したところ、従来の衝撃圧縮法では凍結されない鉄の高圧相が確認されました。左の図が解析部分のSEM像、右の図がEBSP法のマッピングデータです。黄色が高圧相、赤色が常温常圧相、黒色はレーザーによって除去され樹脂埋めされている部分を示します。

（提供：大阪大学大学院工学研究科 佐野智一、他）

プラズマ・核融合学会役員

会長	高村 秀一	副会長	山中 龍彦	藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一（総務委員長）
理事	井岡 茂（財務委員長）	榎戸 武揚	岡野 邦彦			
	西原 功修	田辺 哲朗（編集委員長）	二宮 博正（広告委員長）			
	松岡 啓介（企画委員長）	堀岡 一彦	永見 正幸（プログラム委員長）			
長	照二（出版委員長）	松井 秀樹（広報委員長）	吉田 善章			
佐藤浩之助	際本 泰士					

監事	天岸 祥光	長谷川 満
----	-------	-------

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田辺哲朗（名大）

エディター 団子秀樹（九大）、関 昌弘（原研）、田中雅慶（核融合研）、西村博明（阪大）、福山 淳（京大）、藤山 寛（長崎大）、相澤正満（日大量科研）、安藤利得（金沢大理）、井深真治（東大院理）、入江 克（早大理工）、遠藤琢磨（広大院工）、柏谷俊郎（同志社大工）、金子俊郎（東北大院工）、佐藤邦弘（姫路工大）、澤田圭司（信大工）、清水勝宏（原研那珂）、下妻 隆（核融合研）、上瀧恵里子（九大応力研）、白神宏之（阪大レーザー研）、杉本敏司（阪大院工）、鈴木千尋（核融合研）、高木浩一（岩手大工）、立松芳典（筑波大プラズマ）、田中 仁（京大院エネ科）、力石浩孝（核融合研）、内藤裕志（山口大工）、波多江仰紀（原研那珂）、松川 誠（原研那珂）、松本和憲（富山県大工）、村上定義（京大院工）、森下和功（京大エネ理工研）、八木康之（産総研）、山崎誠一郎（川崎重工）、湯上 登（宇都宮大院工）、渡邊清政（核融合研）、渡邊智彦（核融合研）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第80巻第6号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL:<http://jspf.nifs.ac.jp/>

印 刷 株式会社荒川印刷

2004年（平成16年）6月25日

定価1,365円（本体1,300円）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は（社）プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。